

米国 貿易赤字が大幅に縮小したが一時的 (15年2月貿易統計)

発表日：2015年4月3日(金)

～純輸出は1-3月期の実質GDP成長率を前期比年率0.4%程度押し下げる可能性～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治

03-5221-5001

**2月貿易赤字は▲
354.44億ドル(前月▲
426.77億ドル)と前月
比▲16.9%**

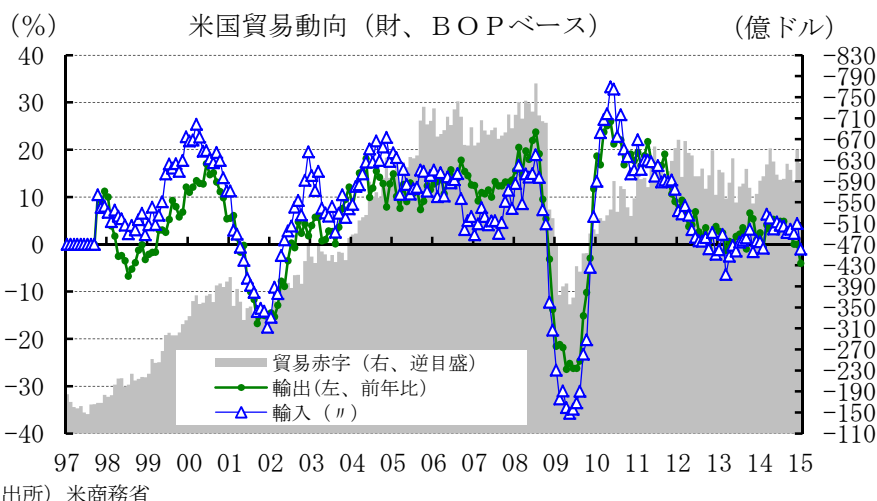
15年2月の貿易収支(サービスを含む国際収支ベース、季節調整済)は、▲354.44億ドル(前月▲426.77億ドル)と前月比▲16.9%縮小し、赤字額が市場コンセンサスの▲412億ドルを大幅に下回った。サービス収支の黒字額が小幅減少したものの、財収支の赤字額が大幅に縮小した。輸出が自動車、民間航空機、金等の減少によって前月比▲1.6%と減少を続けた一方、輸入が原油、自動車、携帯等の減少により同▲4.4%と減少幅を拡大した。

もともと、西海岸での港湾ストの影響を受けており、財赤字の大幅な縮小は一時的な動きと判断される。既に、港湾ストは終了しており、3月以降徐々に荷動きが改善され、輸入が増加すると見込まれる。

貿易収支 (U.S. International Trade in Goods and Services)

	貿易収支			輸出		輸入			
	Balance	財 Goods	サービス Services	Exports		財 Goods	Imports	財 Goods	
14/02	▲418.91	▲599.55	+180.64	▲2.4	(+0.0)	▲2.4	▲0.7	(+0.1)	▲1.2
14/03	▲427.85	▲622.02	+194.17	+3.3	(+3.9)	+4.0	+3.1	(+5.9)	+3.9
14/04	▲455.83	▲652.43	+196.60	+0.2	(+3.6)	▲0.4	+1.3	(+5.3)	+1.3
14/05	▲432.31	▲627.51	+195.20	+1.2	(+5.1)	+1.4	▲0.0	(+3.5)	▲0.3
14/06	▲414.13	▲602.49	+188.36	▲0.4	(+2.9)	▲0.2	▲1.1	(+4.6)	▲1.4
14/07	▲406.55	▲592.61	+186.06	+1.0	(+4.2)	+1.7	+0.5	(+4.0)	+0.7
14/08	▲399.15	▲594.85	+195.70	+0.4	(+4.2)	▲0.0	▲0.0	(+3.6)	+0.1
14/09	▲433.68	▲623.46	+189.78	▲1.7	(+2.6)	▲2.1	+0.0	(+2.6)	▲0.0
14/10	▲418.98	▲611.66	+192.68	+1.8	(+2.4)	+1.9	+0.9	(+3.2)	+0.7
14/11	▲395.28	▲590.00	+194.72	▲1.0	(+1.0)	▲1.5	▲1.8	(+2.3)	▲2.1
14/12	▲456.02	▲650.17	+194.15	▲0.9	(+1.1)	▲2.0	+1.8	(+4.5)	+1.7
15/01	▲426.77	▲625.33	+198.56	▲3.0	(▲1.8)	▲4.2	▲3.6	(+0.1)	▲4.1
15/02	▲354.44	▲551.76	+197.32	▲1.6	(▲1.0)	▲2.3	▲4.4	(▲3.6)	▲5.4

(注2) 輸出入の数字は前月比。カッコ内は前年同月比。



(出所) 米商務省

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

1-3月期の純輸出のGDP寄与度は▲0.4%

実質貿易赤字額は、2月に減少したが、1、2月平均では10-12月期よりも増加しているうえ、3月に再び増加するとみられることから、1-3月期の赤字額は10-12月期の水準を上回ろう。この結果、1-3月期の純輸出のGDP寄与度は前期比年率▲0.4%程度と10-12月期の同▲1.0%から縮小するもののマイナスが続くと見込まれる。

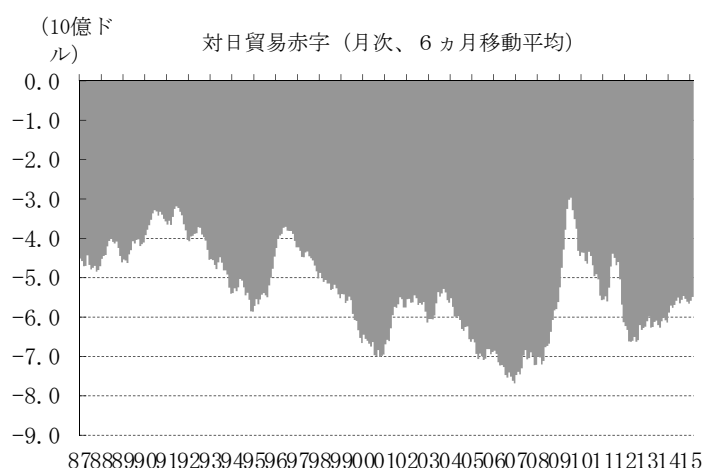
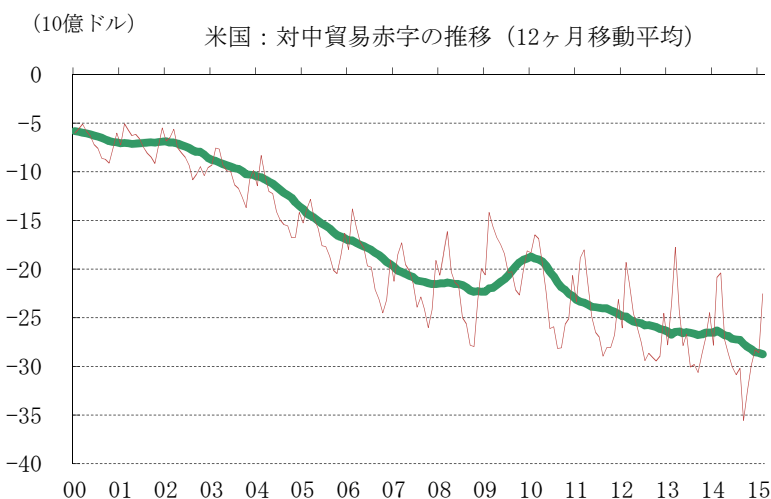
輸出は前月比▲2.2%、輸入は前月比▲5.4%

財別の輸出入動向をみると（通関ベース）、輸出は、消費財の加速も、資本財、自動車、産業資材の減少を背景に、前月比▲2.2%（同1月▲4.5%）とマイナス幅を縮小した。増加、減少額の大きい順では、ダイヤモンド原石、宝石、製薬、骨董品・絵画・切手等が増加した一方、自動車、民間航空機、金、大豆、半導体、燃料油、原油、プラスチック原材料等が大幅に減少した。

輸入は、自動車、消費財、資本財、産業資材が減少したことにより前月比▲5.4%（1月同▲4.1%）と減少幅を拡大した。天然ガス、民間航空機、製薬、化学製品等が増加した一方、原油、自動車、携帯等、産業機械、コンピューター、石油製品、化学製品、石油掘削機、コンピューター部品、TV・録画機、燃料油等が大きく減少した。最も大幅に減少した原油輸入は、輸入価格が1バレル=49.53ドル（前月58.96ドル）と下落したうえ、輸入量が1億9205.2万バレルと減少し、季節調整後の数字は前月比▲16.8%となった。

対欧州での赤字額が増加

地域別収支では、対中国赤字額が▲225.40億ドル（前年比+8.0%）と増加し、貿易赤字全体に占める割合は51.8%と上昇した。中国政府が元高誘導を止めているなか、対中赤字は拡大傾向を辿っており、今後オバマ政権は中国に対して為替市場の自由化要求を強めると見込まれる。対欧州が▲93.34億ドル（前年比+2.8%）、対OPECが▲58.32億ドル（同+1.3%）と増加した。一方、対NAFTAが▲57.44億ドル（同▲6.1%）、対日が▲41.82億ドル（同▲20.5%）と赤字額を縮小した。また、対NIESは+14.56億ドルと黒字幅を拡大した。



2015年は貿易赤字、純輸出の赤字額が拡大する公算

2015年の輸出は、世界経済の回復を背景に拡大すると予想される。ただし、ドル高が続くと予想されるため、低い伸びにとどまると見込まれる。一方、輸入に関しては、国内最終需要の緩やかな成長が見込まれることなどから、輸入の伸びは加速する公算が大きい。この結果、2015年の純輸出の実質GDP寄与度は前年比▲0.2%とマイナスにな

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

ると予想される。

貿易収支 (U.S. International Trade in Goods and Services)

	貿易収支			輸出		輸入			
	Balance	財 Goods	サービス Services	Exports		財 Goods	Imports		財 Goods
14/02	▲418.91	▲599.55	+180.64	▲2.4	(+0.0)	▲2.4	▲0.7	(+0.1)	▲1.2
14/03	▲427.85	▲622.02	+194.17	+3.3	(+3.9)	+4.0	+3.1	(+5.9)	+3.9
14/04	▲455.83	▲652.43	+196.60	+0.2	(+3.6)	▲0.4	+1.3	(+5.3)	+1.3
14/05	▲432.31	▲627.51	+195.20	+1.2	(+5.1)	+1.4	▲0.0	(+3.5)	▲0.3
14/06	▲414.13	▲602.49	+188.36	▲0.4	(+2.9)	▲0.2	▲1.1	(+4.6)	▲1.4
14/07	▲406.55	▲592.61	+186.06	+1.0	(+4.2)	+1.7	+0.5	(+4.0)	+0.7
14/08	▲399.15	▲594.85	+195.70	+0.4	(+4.2)	▲0.0	▲0.0	(+3.6)	+0.1
14/09	▲433.68	▲623.46	+189.78	▲1.7	(+2.6)	▲2.1	+0.0	(+2.6)	▲0.0
14/10	▲418.98	▲611.66	+192.68	+1.8	(+2.4)	+1.9	+0.9	(+3.2)	+0.7
14/11	▲395.28	▲590.00	+194.72	▲1.0	(+1.0)	▲1.5	▲1.8	(+2.3)	▲2.1
14/12	▲456.02	▲650.17	+194.15	▲0.9	(+1.1)	▲2.0	+1.8	(+4.5)	+1.7
15/01	▲426.77	▲625.33	+198.56	▲3.0	(▲1.8)	▲4.2	▲3.6	(+0.1)	▲4.1
15/02	▲354.44	▲551.76	+197.32	▲1.6	(▲1.0)	▲2.3	▲4.4	(▲3.6)	▲5.4

(注2) 輸出入の数字は前月比。カッコ内は前年同月比。

	輸出					輸入				
		産業資材 *1	資本財 *2	自動車 *3	消費財 *4		産業資材	資本財	自動車	消費財
14/02	▲1.4	▲6.4	▲1.5	▲0.2	+8.1	▲1.3	▲0.3	▲2.5	+0.5	▲2.5
14/03	+3.3	+2.4	+5.2	+5.8	▲1.6	+3.9	+1.3	+2.9	+2.8	+6.6
14/04	▲0.4	+0.5	▲0.7	▲1.3	▲0.5	+1.5	▲0.5	+1.7	+3.4	+2.2
14/05	+1.3	+0.5	▲0.4	+6.1	+2.5	▲0.3	▲3.2	+2.0	+5.1	▲0.7
14/06	▲0.1	+0.1	+0.1	+1.2	+2.5	▲1.4	▲0.7	▲0.3	▲3.7	▲3.1
14/07	+1.6	+3.1	+1.0	+12.2	▲3.8	+0.7	+0.6	▲0.7	+5.2	▲1.2
14/08	+0.3	+1.7	+2.1	▲11.3	+4.6	+0.1	▲0.2	+3.6	▲4.8	+1.5
14/09	▲2.1	▲4.7	▲2.5	▲0.8	▲4.0	▲0.1	▲1.9	▲1.9	▲2.0	+4.2
14/10	+1.8	▲0.2	+3.8	+1.2	+2.6	+0.8	+0.2	+2.0	+4.6	▲1.6
14/11	▲1.6	+1.7	▲4.8	▲3.6	▲2.7	▲2.2	▲7.8	▲0.8	▲2.4	+3.8
14/12	▲1.6	▲7.3	+1.9	+2.8	▲0.4	+1.7	+4.7	▲0.4	+3.0	▲0.4
15/01	▲4.5	▲5.5	▲1.2	▲7.0	+0.2	▲4.1	▲11.0	+0.5	▲1.9	▲3.8
15/02	▲2.2	▲3.8	▲3.6	▲8.7	+7.9	▲5.4	▲9.3	▲5.1	▲6.1	▲3.1

*3: Automotives vehicles, parts and engines *4: Consumer goods, except automotives

	輸出						輸入					
		カナダ	中南米	EU	太平洋工業国			カナダ	中南米	EU	太平洋工業国	
						日本						日本
14/02	+0.2	▲0.1	▲1.8	+3.9	+0.9	+6.6	▲0.4	▲1.7	+1.3	+3.0	▲4.5	▲3.3
14/03	+3.8	+3.7	+6.5	+6.8	+5.4	+8.2	+6.3	+3.8	+3.7	+8.0	+9.5	▲1.6
14/04	+3.4	+0.9	+2.3	+11.2	+6.6	+5.2	+5.2	+2.4	+0.0	+12.2	+5.9	▲5.7
14/05	+3.9	+3.3	+8.0	+8.0	+0.5	▲5.9	+1.7	+6.0	▲2.2	+10.4	+2.4	▲5.3
14/06	+2.6	+8.3	+6.5	+7.8	▲0.9	▲0.5	+6.7	+11.9	+4.3	+18.2	+7.9	▲1.7
14/07	+4.8	+10.5	+1.2	+12.3	+2.3	+5.4	+3.5	+11.1	+1.3	+5.3	+2.6	▲2.7
14/08	+4.0	+4.0	+3.5	+7.7	+2.6	+11.8	+1.8	+4.0	+0.5	+10.6	+1.4	▲7.9
14/09	+3.8	+6.9	+5.8	▲2.8	+2.8	▲2.2	+5.6	+8.9	+3.4	+8.0	+10.0	▲3.4
14/10	+2.6	+4.6	+3.7	+2.9	+1.5	+2.2	+2.7	+3.3	+5.0	▲0.9	+7.2	+1.3
14/11	▲0.8	▲1.3	+2.2	▲2.7	▲6.4	▲13.2	+0.6	▲2.2	▲3.1	+2.6	+4.1	▲8.7
14/12	+1.4	+2.9	+1.0	+6.5	▲2.6	+9.9	+6.8	+6.3	+4.6	+11.5	+9.2	+2.8
15/01	▲4.8	▲0.9	▲7.5	+3.6	▲10.8	▲7.7	▲2.5	▲4.9	▲5.1	+4.2	+2.1	+0.1
15/02	▲4.3	▲6.0	▲3.2	+6.2	▲7.6	▲5.4	▲4.6	▲8.4	▲8.2	+5.2	+0.1	▲12.9

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。